

## 施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	<p>太田市人口ビジョンの目標値(令和22年(2040年)に人口20万人を確保)が消極的過ぎではないでしょうか。</p> <p>国も少子化対策として不妊治療に本腰を入れ具体策を出しており、県内では高崎市が増加の展望を掲げています。経済的援助もちろん大切ですが、家庭教育を中心に学校や地域でも結婚・子育ての喜びの価値観を教えるようにし、また、健康上子どもができない人(男女問わず)にも充分配慮し意識改革すれば少子化対策ができるのではないのでしょうか。</p> <p>一般的に努力すれば子供の2、3人は産んで育てられる世の中です。人権に配慮し過ぎてなかなか踏み込めないのが現状だと思いますが、少子化が最大の課題であるのであれば、最優先に考えて解決しなければならぬと思います。外国では増えている国がたくさんあります。日本が長年少子化が続いている原因は何か真剣に考えるべきです。子育て、住みやすさ県内No.1の太田ならできます。リーダーシップを発揮できる市長であると信じています。</p>	<p>太田市の人口は微増を続けていますが、近年における外国人人口の著しい増加が主な要因となっており、今後予想される老年人口の増加や母親世代の人口減に伴う出生数の減少による自然減の進行を考えると、長期的な人口減少は避けられない状況です。</p> <p>市としては、本計画や「しごと」と「ひと」の観点から地域の活性化を図る太田市総合戦略を着実に推進するとともに、少子化対策については重要課題として引き続き国や県と役割を補完しあいながら、少子高齢・人口減少社会を見据えたまちづくりをしていきたいと考えています。</p>